

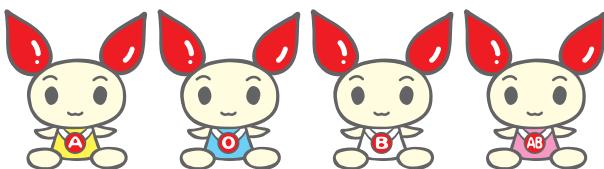
## 輸血と血液型

輸血は、だれの血液でもよいというわけではありません。輸血を受ける人と同じ血液型の血液を輸血します。ABOとRBC血液型（赤血球の型）の2つを合わせないと基本となります。

たとえば、患者さんがAB型でRBCマイナスだとすると、ABOもRBCも同じ型の血液を輸血します。この場合、AB型の日本人は10人に1人で、RBCマイナスは2000人に1人ですから、同じ血液型の人は2000人に1人という割合になり、すぐに見つかるとは限りません。

以前はこうした時に、輸血用の血液がないという状況が報道され、これに応えて血液の提供を申し出る方のおかげで、無事手術が行われるということがありました。現在は、献血に協力していただける方の登録体制をとって、このような場合に備えています。

血液型は大事だっち。



## 血液型と遺伝

ABO血液型はメンデルの遺伝の法則に従って遺伝します。A、B、O、AB型の4つの血液型を遺伝子型からみると、A型にはAAとAOがあり、B型にはBBとBOがありますが、O型はOO、AB型はABです。

A型同士の両親からでも、遺伝子がAAとAAなら、子どもはA型しか生まれませんが、遺伝子型がAOとAOなら、子どもはA型かO型の子どもが生まれます。AAとAOの両親からは、遺伝子型AAがAOのA型の子どもが生まれることになります。これはB型の場合もまったく同じことといえます。

そのほかの組み合わせに関しては、表を参考にしてください。

両親の子と血液型

父 母	A型	B型	AB型	O型
A型	AまたはO型	すべて	O型以外	AまたはO型
B型	すべて	BまたはO型	O型以外	BまたはO型
AB型	O型以外	O型以外	O型以外	AまたはB型
O型	AまたはO型	BまたはO型	AまたはB型	O型のみ